



リレー・フォー・ライフ・ジャパン みやぎ 自主上映会

リレー・フォー・ライフ・ジャパンは、がんサバイバーを応援し、がんになっても安心して過ごせる地域社会を目指して活動しています。
Dr. カキゾエが「がん」と「震災」に心を寄せて 1,025kmを歩いた様子を記録したドキュメンタリー映画を宮城でみるチャンスです！

「がんと生きる言葉の処方箋」「認知症と生きる希望の処方箋」に続く処方箋シリーズ第3弾
ドキュメンタリー映画

Dr.カキゾエ

歩く処方箋 ～みちのく潮風トレイルを往く～

歩け、歩け。道境にたまたまいても、
人は復活する力を持っている。格闘する
医師は、みちのくの旅でなにも見たら、

山崎浩三郎

主演：垣添忠生 みちのく潮風トレイルで出会った人々
監督：野澤和之 俳句朗読：山根基世

ゼネラルプロデューサー：田寺順史郎 プロデューサー：上田幸何 高瀬政廣 赤間敬孝 追分健朗 企画協力：森田幸子 中村智志 撮影監督：堂本昌宏 撮影：吉田 誠 葛原圭人 松崎高久
編集：平井得人 技術協力：川口良美・abyss 堀江亜希 音楽：合田学生・ts&kプロジェクト 編曲：大川友章 歌：田島玲子 挿入歌：「わせねでや」 作詞：内海和江 作曲：ヒザシ
MA：竹山公一郎 studio CATS 広瀬：井上 正 RISE co.ltd. 事業協力：桃オーバル・アドバタイジング 協力：公益財団法人 日本対がん協会 制作：Dr.カキゾエ歩く処方箋映画製作委員会
2024 | 日本映画 | カラー | ステレオ | DCP | 120分 | 映倫G | © Dr.カキゾエ歩く処方箋映画製作委員会 配給：武蔵野エンタテインメント株式会社



公式サイト

主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎ実行委員会
協力：公益財団法人 日本対がん協会、Dr.カキゾエ歩く処方箋 映画製作委員会

【事務局】

987-2308 宮城県栗原市一迫真坂字清水小館44
Tel: 090-4880-1203 Email: miyagireforraifu@gmail.com

リレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎ
<https://relayforlife.jp/miyagi/>

開催日

2026

3/22

日曜

13:30～16:30

(開場13:00)

会場

せんだいメディアテーク
7階 スタジオシアター
宮城県仙台市青葉区春日町2-1

参加寄付金

一般 1500円

高校生以下 無料

がんサバイバー 無料

皆様からお預かりしたご寄付は、
日本対がん協会を通じて、がん征圧
のための活動へ活かされます。

申込はこちらから
お願いします →



プログラム

第1部

ドキュメンタリー映画鑑賞
(120分)

第2部

Dr.カキゾエと話そう！

当日は、垣添忠生先生にお越しいただきます。がんのこと、震災のこと、みちのく潮風トレイルのこと、グリーフのこと、いろいろお話してみよう。

Hope is a Wish for Something to Come True by Action



がんの専門家である垣添忠生医師が、青森県八戸市から福島県相馬市までのみちのく潮風トレイル1025キロを歩くロードムービーです。

歩くことで、がんサバイバーの支援と東日本大震災の被災者の心の傷に少しでも寄り添いたいという思いから、82歳になるドクターカキゾエは、歩く決意をしました。

雨が降っても、風が吹き荒れても、ひたすら歩き続けます。移り変わる美しい自然の風景とともに、歩くときさまざまな人々との出会いが生まれます。がんと共に生きる女性、震災の悲しみをそれぞれのやり方で乗り越えようとしている人々。ドクターカキゾエは、歩きながら思索を重ね、確信したことがあります。

「がんでも、震災でも、人は逆境にたたされても、必ず復活する力を持っている。復活する人の強さとは何か？」

映画は、静かにその答えを示唆してくれます。

★がんサバイバーと3.11被災者に出会う Dr.カキゾエ・82才の1025km

奥様を亡くした消えない悲しみに抗うような、垣添先生のひたすらな歩みに心打たれました。被災者やガン患者、それぞれの痛みに寄り添うことが、互いを癒し立ち上がる力になる。是非ご覧いただきたい映画です。アナウンサー 山根世

三陸海岸1000キロを完歩する82歳、垣添先生の歩みの力強さ温かさ。その姿に共鳴したがんサバイバー、震災被災者たちから語られる言葉に多くの人が励まされるに違いない。フリーアナウンサー 笠井信輔

イラスト：嵐山光三郎



垣添忠生 Kakizoe Tadahiko

1941年大阪府生まれ。東京大学医学部卒業。国立がん研究センター病院に泌尿器科医として勤務。後に総長を務める。現在は、公益財団法人日本対がん協会会長。がんの診断、治療、予防に幅広く関わり全がんに目配りしている。著書「がんと人間」「妻を看取る日」「カキゾエ黄門漫遊記」他多数。

朝日新聞 読売新聞 日テレ NIPPON TV 大鵬薬品工業株式会社 KANAMIC NETWORK SNBL 株式会社 新日本科学 医療法人 啓信会
TERUMO テルモ株式会社 DAIWA ダイワ包材 株式会社 株式会社 SP-TECH Brain & Body Store® Jsi 一般社団法人 日本セルフケア研究会 Canon キヤノンメディカルシステムズ株式会社
キヤノンメディカルシステムズ労働組合 キヤノンメディカルシステムズ社員有志 立川在モクアクリニック CMO 松倉中央クリニック 大分 大山町農業協同組合
HappyJapan 吉田病院 医療法人社団 永生会 岩泉ホールディングス 株式会社 LSC ホールディングス
オキ ホールディングスグループ 小野薬品工業株式会社 東京メディカルスクール 医療法人 隆風会 藤井隆広クリニック 三菱居合道部

リレー・フォー・ライフ・ジャパン (RFLJ) みやぎは「アナタはひとりじゃない。がんになっても、自分らしく生きられる地域に」という理念のもと年に1度、夜通しのリレーイベントを開催しています。このたび2026年10月3~4日開催のRFLJ2026みやぎを盛り上げるべく、プレイイベントとして日本対がん協会会長 垣添忠生先生をお招きし「歩く処方箋」の上映を企画いたしました。

私たち東北の地は東日本大震災で数えきれない命の痛みを知りました。そして、がんもまた多くの命の痛みを生んでいます。命の痛みを抱えた者がふたたび歩き出すためには、その痛みを受けとめともに歩んでくれる存在が大きな力となります。この映画と垣添先生はそのような「ともに歩んでくれる」存在なのです。

RFLJみやぎ 実行委員長 高橋悦堂



サバイバーフラッグを掲げて歩く参加者の皆さんと垣添先生(RFLJみやぎ2025)